

計画変更

土地改良事業計画書

---県営土地改良事業---

(水利施設整備（農地集積促進型）)

鳥^と 栖^す 南^な 部^ん 地^ぶ 区^ち

佐 賀 県

目 次

第1章	目 的	1
第2章	地域及び地積	2
第1節	地 域	2
第2節	地 積	2
第3章	現 況	3
第1節	気象及び海象	3
1.	一般気象	3
2.	特殊気象	4
3.	海 象	4
第2節	土地状況	5
1.	地形、土壌及び浸食の程度	5
2.	土地分類	6
3.	土地利用の状況	7
4.	土地所有の状況	8
第3節	水利状況	9
1.	用水状況	9
2.	排水状況	13
3.	河川の状況	13
第4節	道路状況	13
第5節	地域農業の概要	14
1.	産業別就業人口	14
2.	経営耕地広狭別農業経営体数及び 耕地の分散状況並びに専兼業農家数	15
3.	動力農機具及び主要家畜頭数	16
4.	主要作物作付状況	17
5.	農業の動向	18
第6節	地域環境の概要	19

第4章	一般計画	20
第1節	事業計画の要旨	20
1.	要 旨	20
2.	事業別面積	20
第2節	営農計画及び土地利用計画	21
1.	営農計画の概要	21
2.	土地利用区分	21
3.	作付方式	22
4.	生産計画	26
5.	労働改善計画	27
6.	級地別土地利用区分	28
7.	土地配分計画	28
第3節	用水計画	29
1.	計画基準年	29
2.	計画かんがい方式	29
3.	計画用水系統	29
4.	計画用水量	31
5.	水源計画	32
第4節	排水計画	35
1.	計画基準雨量	35
2.	計画排水方式	35
3.	計画排水系統	35
4.	計画排水量	35
5.	排水対策	35
6.	たん水検討	35
第5節	道路計画	36
第6節	農用地造成計画	36
第7節	洪水調整計画	36

第8節	干拓計画	36
第9節	農用地整備計画	36
第10節	老朽ため池改修計画	36
第5章	主要工事計画	37
第1節	用水施設	37
1.	頭首工	37
2.	貯水池	37
3.	揚水機	38
4.	用水路	38
5.	その他かんがい施設	38
第2節	排水施設	39
第3節	農道及び索道	39
第4節	農用地造成	39
第5節	洪水調節施設	39
第6節	干拓施設	39
第7節	農用地整備施設	39
第8節	老朽ため池改修施設	39
第6章	付帯工事計画	40
第7章	工事の着手及び完了の予定時期	40
第8章	環境との調和への配慮	40

第9章	換地計画の概要	41
第1節	換地計画を作成するための基本的な考え方	41
第2節	換地区の設定	41
第3節	換地計画樹立の基本方針	41
第4節	土地の評価及び精算の方法	41
第5節	換地計画樹立の年度計画	41
第6節	換地処分 of 時期に関する特則	41
第10章	事業費の総額及び内訳	42
第11章	効 用	43
第12章	関連する事業	44
第13章	現況・計画図面	45

第 1 章 目 的

本地区は佐賀県東部に位置しており、米、麦、大豆を中心とした土地利用型農業の他、イチゴ、アスパラガス等の都市近郊作物や菓子メーカーとの契約栽培でバレイショが作付けされている。

農業用水は、河川からの取水に依存しており、小規模な干ばつ時でも農業用水が不足し、営農に支障を来している。このため、農業用水の安定供給を目的とし、「国営筑後川下流土地改良事業」や「県営かんがい排水事業」により基幹施設の整備が行われている。

本地区はこれら基幹施設の末端に位置しており、基幹施設と併せて末端施設(パイプライン)を整備することで農業用水の不足を解消し、水田農業の安定と確立及び、地域の中心となる経営体への農地集積を図り、地域農業の持続的な発展を図ることとしている。

第 2 章 地域及び地積

第1節 地 域

(第1表)

事業名	地域
県営土地改良事業（水利施設整備（農地集積促進型））鳥栖南部地区	佐賀県 鳥栖市

第2節 地 積

(R6年12月現在)

(第2表)

工 種	現況地目	田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
	市町村名							
県営土地改良事業（水利施設整備 （農地集積促進型））鳥栖南部地区	鳥栖市	78.5	-	-	-	-	78.5	
	計	78.5	-	-	-	-	78.5	
合 計		78.5					78.5	

第 3 章 現 況

第 1 節 気象及び海象

1. 一般気象

(第 3 表－ 1)

観測所名	佐賀地方気象台	かんがい期6月～10月	非かんがい期11月～5月	計または平均	備考
観測期間	年～ 年	大正 4 年 ～ 平成 2 6 年			
平 均 気 温 (℃)		23. 6	10. 4	15. 9	
降 水 量	平 均(mm)	1, 133. 0	725. 0	1, 858. 0	
	基準年(mm)	959. 6	730. 3	1, 689. 9	昭和35年
降水日数	平 均(日)	49	57	106. 0	
	基準年(日)	52	55	107. 0	昭和35年
根 雪 期 間		月 日 ～ 月 日 一日間			
無 霜 期 間		3月 28日 ～ 11月 26日 244日間			
最 多 風 向		S	最 大 風 速 (風 向)	32. 7m	発生時期 3月～5月, 8月～12月 発生年月日 昭和5年7月18日

2. 特殊気象

(第3表-2)

観測所名	第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位			備 考
佐賀地方 气象台																
観測期間	数量	年月日	発生 確率	数量	年月日	発生 確率	数量	年月日	発生 確率	数量	年月日	発生 確率	数量	年月日	発生 確率	
平成 6 ～平成26年																
最大日 雨量 (mm)	229	H24. 7. 13		221	H26. 7. 3		182	H20. 6. 19		171	H21. 7. 26		166	H23. 7. 6		
最大時間 雨量 (mm)	91	H24. 7. 13		70	H11. 8. 31		69	H20. 6. 19		68	H26. 8. 20		66	H9. 8. 3		
最大4時間 雨量 (mm)	170	H20. 6. 19		154	H26. 7. 3		140	H24. 7. 13		116	H25. 8. 30		116	H21. 7. 26		
最大連続 雨量 (mm)	483	H7. 6. 30～ H7. 7. 7		458	H9. 7. 4～ H9. 7. 12		433	H19. 7. 4～ H19. 7. 14		372	H24. 7. 11～ H24. 7. 14		334	H21. 7. 24～ H24. 7. 26		
最大連続 干天日数 (日)	60	H7. 11. 15～ H8. 1. 13		50	H15. 9. 13～ H15. 11. 1		49	H10. 12. 1～ H11. 1. 18		43	H10. 10. 18～ H10. 11. 29		41	H23. 12. 9～ H24. 1. 18		

3. 海象

(第3表-3)

観 測 所 名	住ノ江港	既往最高 潮 位 (m)	さく望平均 満 潮 位 (m)	上下弦平均 満 潮 位 (m)	平均潮位 (m)	上下弦平均 干 潮 位 (m)	さく望平均 干 潮 位 (m)	既往最低 潮 位 (m)	備 考
観 測 期 間	S15年 ～ 25年								
実 測 値		(+)4.00	(+)3.07	(+)1.01	(+)0.42	(-)0.59	(-)2.65	(-)3.50	東京湾中等潮位

第2節 土地状況

1. 地形・土壌及び侵食の程度

(第4表－1－1)

事業名	地目	田						畑・その他								受益地標高 (m)		備 考
	傾斜	1/1000	1/1000 ～	1/100 ～	1/20 ～	1/11.5 以上	計	3° 以下	3° ～8°	8°～15°			15° ～20℃	20° 以上	計	最高	最低	
	区分	以下	1/100	1/20	1/11.5	以上	計	以下	～8°	8° ～10°	10° ～15°	8° ～15°	～20℃	以上	計	最高	最低	
県営土地改良事業（水利施設整備（農地集積促進型））鳥栖南部地区	面積 (ha)		78.5				78.5									9.5	7.7	
	比率 (%)		100.0%				100.0%											
合計	面積 (ha)		78.5				78.5											
	比率 (%)		100.0%				100%											

(第4表－1－2)

項 目 土 壤 統 (区) 名 番 号		土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表										面 積 (ha)		備 考		
		土 壤 断 面								堆 積 様 式	母 材					
		色	腐 食	礫 層	酸 化 沈 澱 物	土 性			泥 炭 層 黒 泥 層 及 び グ ラ イ 層							
						表 土	下 層 土									
						一 層	二 層	三 層								
礫質土壌 砂土質層型		K94	灰	富む	55～ 100	糸状富 む	L	L	L	グライ層5～ 50cm	沖積層	花崗岩	78.5			
計		計											78.5			

(第4表－1－3)

区分	土壌の流亡率				年平均流亡速度				ガリ侵食の程度		備 考
	0	0～25%	25～50%	50%以上	0	3mm未満	3～5mm	5mm以上	中程度のもの	大なるもの	
面積(ha)											
比率(%)											

2. 土地分類

(第4表－2－1)

市町村名	級地別	農 用 地 造 成										計 (ha)	備 考	
		一級地 (ha)	二 級 地				三 級 地				四 級 地			
			* (ha)	3° ～8° (ha)	8° ～12° (ha)	12° ～15° (ha)	* (ha)	15° ～20° (ha)	20° ～25° (ha)	25° ～30° (ha)	* (ha)			30° 以上 (ha)
計													*は傾斜以外の 要因によるもの	

(第4表－2－2)

級地別 市町村名	干 拓					備 考
	一級地 (ha)	二級地 (ha)	三級地 (ha)	四級地 (ha)	計 (ha)	

3. 土地利用の状況

(令和6年12月現在) (第4表-3)

	土 地 利 用 別 市町村名	耕 地								山 林		牧草 放牧地 (ha)	原野 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
		水 田		普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	桑畑 (ha)	茶園 (ha)	その他の 樹園地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
		一毛作 田 (ha)	二毛作 田 (ha)													
県営土地改良事業（水利施設整備（農地集積促進型）） 鳥栖南部地区	鳥栖市	78.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	78.5	
	計	78.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	78.5	
合 計		78.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	78.5	

4. 土地所有の状況

(令和7年 7月 現在)

(第4表－4)

事業名	所有別 区 別	個人有				計	備 考
	面 積(ha)	78.5				78.5	
県営土地改良事業（水利施設整備（農地集積促進型））鳥栖南部地区	関係戸数(戸)	202				202	
	筆 数(筆)	741				741	
	権 利 関 係	所有権					
	備 考 (受益者数)	215				215	
	面 積(ha)						
	関係戸数(戸)						
	筆 数(筆)						
	権 利 関 係						
	備 考 (受益者数)						
合計	面 積(ha)	78.5				78.5	
	関係戸数(戸)	202				202	
	筆 数(筆)	741				741	
	権 利 関 係	所有権					
	備 考 (受益者数)	215				215	

第3節 水利状況

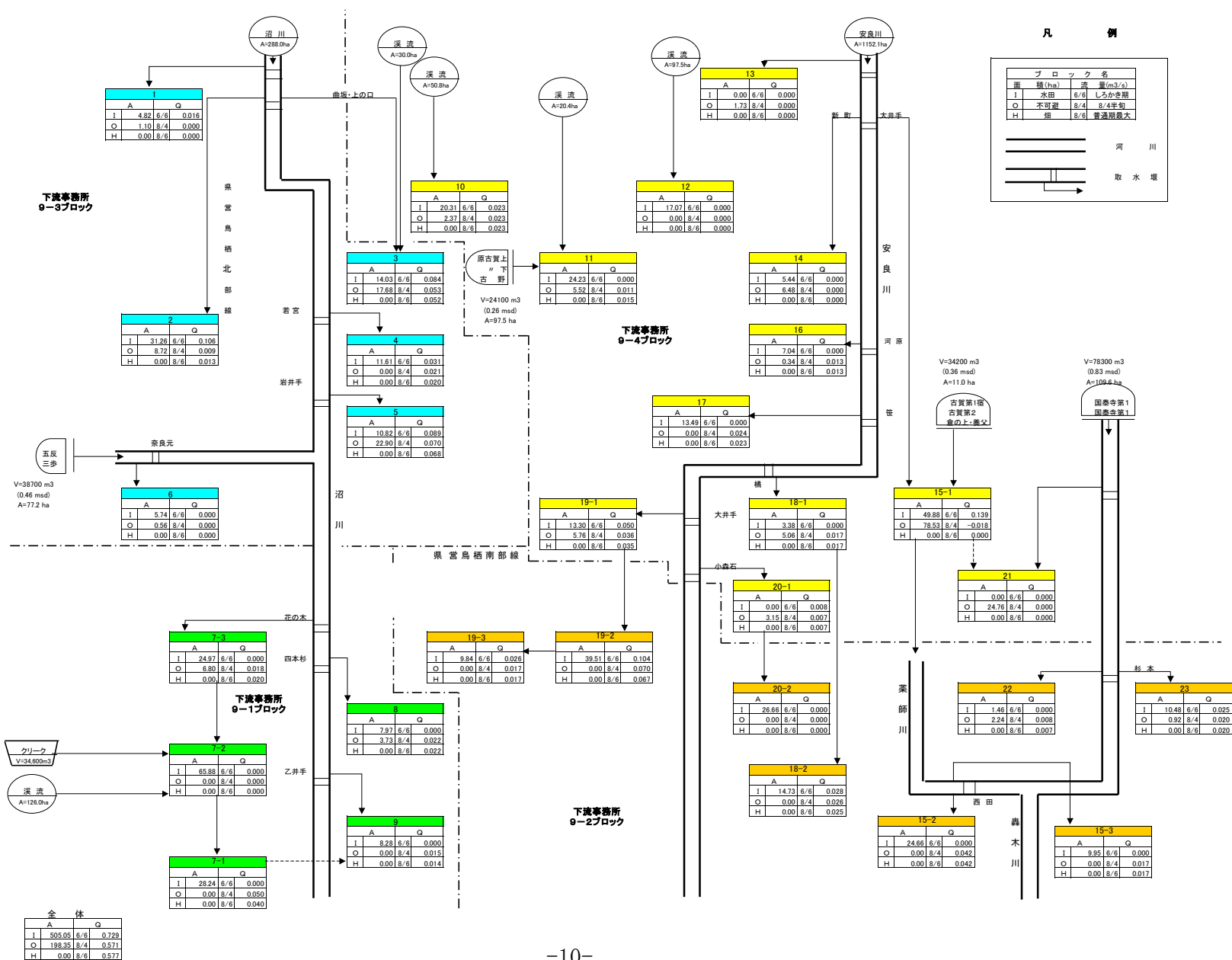
1. 用水状況

本地区は、一級河川筑後川水系安良川、轟木川、薬師川及びその支川を取水源としている。

(1) 用水系統

別図参照

現況用水系統図



(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

事業名	項 目	かんがい面積						計	水利権		慣行水利権		延べ取水量	備考	
		100ha以上		100ha未満 ～30ha以上		30ha未満									
	施設名	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m³/S	箇所	千m³/S	千m³/S	
県営土地改良事業（水利施設整備（農地集積促進型）） 鳥栖南部地区	井 堰	-	-	6	78.5	-	-	6	78.5	-	-	6	0.089	0.089	
	自然取入口	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	貯 水 池	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	揚 水 機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	そ の 他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	計	-	-	6	78.5	-	-	6	78.5	-	-	6	0.089	0.089	
	井 堰														
	自然取入口														
	貯 水 池														
	揚 水 機														
	そ の 他														
	計														
	井 堰														
	自然取入口														
	貯 水 池														
	揚 水 機														
	そ の 他														
	計														
合 計															

(イ) 改修を要する施設一覧

該当無し

(3) 用水に関する被害状況

(ア) 用水不足による被害状況

(第5表-3-1)

事業名	項 目 系統名	かんがい 面 積 (ha)	現 況 必要水量 (千m3)	不 足 水 量				平均減産量 (t)	平均維持管理費 (千円)	備考
				かんがい期最大不足水量		かんがい期総不足水量				
	平 均 (m3/s)			基準年 (m3/s)	平 均 (千m3)	基準年 (千m3)				
県営土地改良事業（水利施設整備（農地集積促進型））鳥栖南部地区	全工区	78.5	1,544	-	0.23	-	206.3	-	-	
	計	78.5	1,544	-	0.23	-	206.3	-	-	
合 計		78.5	1,544	-	0.23	-	206.3	-	-	

(イ) その他の被害状況

該当無し

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況

該当無し

2. 排水状況

(1) 排水系統

該当無し

(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表

該当無し

(イ) 改修を要する施設の一覧表

該当無し

3. 河川の状況

(1) 河川の現況

該当無し

(2) 洪水に関する被害状況

該当無し

第4節 道路状況

1. 道路概況

該当無し

2. 主要道路一覧表

該当無し

第5節 地域農業の概要

1. 産業別就業人口

項目 市町村名	総数 (人)	農業 (人)	林業 (人)	漁業 (人)	鉱業 (人)	建設業 (人)	製造業 (人)	電気 ガス 熱供給 水道業 (人)	運輸 通信業 (人)	卸売小 売業飲 食店 (人)	金融 保険業 (人)	不動産 業 (人)	サービス業 (人)	公務 (人)	その他 (人)	備考
鳥栖市	32,193	681	5	1	6	1,945	5,784	218	3,612	5,291	604	392	10,510	1,525	1,619	第61次佐賀農林 水産統計年報 P.8～9
計	32,193	681	5	1	6	1,945	5,784	218	3,612	5,291	604	392	10,510	1,525	1,619	
比率	100.0%	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	6.0%	18.0%	0.7%	11.2%	16.4%	1.9%	1.2%	32.6%	4.7%	5.0%	

2. 経営耕地広狭別農業経営体数及び耕地の分散状況並びに専業別農家数

項目 市町村名	農業経営体 総数 (戸)	経営耕地広狭別農業経営体数											例外規定の適用を 受けるもの
		経営耕 地なし	0.3 ha 未満	0.3 ～ 0.5	0.5 ～ 1.0	1.0 ～ 1.5	1.5 ～ 2.0	2.0 ～ 3.0	3.0 ～ 5.0	5.0 ～ 10.0	10.0 ～ 20.0	20.0 ha 以上	
鳥栖市	280	16	20	63	82	27	9	11	13	19	10	10	
計	280	16	20	63	82	27	9	11	13	19	10	10	
比率	100%	6%	7%	23%	29%	10%	3%	4%	5%	7%	4%	4%	

項目 市町村名	農業経営体 総数 (戸)	1戸当平均農地面積(ha)						耕地の分散状況		専業農家別農家数			備考
		田	畑	樹園地	小計	草地	計	1戸当団 地数	団地当 り面積	専業	兼業		
											第1種	第2種	
鳥栖市	280	4.25	0.18	0.41	4.84		4.84			59	49	140	2010農林業 センサス
計	280	4.25	0.18	0.41	4.84		4.84			59	49	140	
比率	100%	88%	4%	9%	100%		100%	—	—	24%	20%	56%	

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

(出典：農業センサス2010) (第7表-3)

市町村名	項 目		動 力 農 機 具						主 要 家 畜								備 考
	ト ラ ク タ ー		動 力 防 除 機		動 力 田 植 機		自 脱 式 コ ン バ イ ン		乳 用 牛		肉 用 牛		採 卵 鶏		ブ ロ イ ラ ー		
	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (羽)	戸数 (戸)	数量 (羽)	戸数 (戸)	
鳥栖市	442	240			271	206	233	176	65	4	72	5	x※	1	1,918	4	利用農家数割合は販売農家をベースに販売した場合
計	442	240	-	-	271	206	233	176	65	4	72	5	-	1	1,918	4	
100戸当数量(台・頭)	184				132		132		1,625		1,440		0				
利用戸数割合(%)	96.8%		0.0%		83.1%		71.0%		1.6%		2.0%		0.4%		1.6%		

※調査客体数が3未満であり、内訳数値非公表

4. 主要作物作付状況

(出典：第61次佐賀農林水産統計年報) (第7表－4)

市 町 村 名			鳥 栖 市								計	平 均	作 付 率	備 考
総 耕 地 面 積 (ha)			1, 370								1, 370	457		
総 本 地 面 積 (ha)			1, 280								1, 280	427		
区 分 作 物 名			作付面積 (ha)	単位面積 当 収 量 (kg/10a)							作付面積 (ha)	単位面積 当 収 量 (kg/10a)	(%)	
田	表 作	水 稻	816	477							816	477	59. 6	
		大 豆	181	161							181	161	13. 2	
		野菜その他									0	0	0. 0	
	裏 作	麦 類	790	512							790	512	57. 7	
		野菜その他									0	0	0. 0	
	小 計		1, 787	1, 150							1, 787	1, 150	130. 4	
畑	春夏作	ばれいしょ									0	0	0. 0	
		野菜その他									0	0	0. 0	
	秋冬作	たまねぎ									0	0	0. 0	
		野菜その他									0	0	0. 0	
	小 計		0	0							0	0	0. 0	
樹 園 地	みかん										0	0		
	その他										0	0		
	小 計		0	0							0	0		
計			1, 787								1, 787		130. 4	
市町村別延作付率(%)			130. 4								130. 4			

5. 農業の動向

(第7表-5)

項 目 区 分	農 家			土 地			主要作物			大 家 畜			動 力 農 機 具			地 域 指定等	備 考
		B	A		B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A	農 機 具 名	B	A		
変化の状況 (C年を100とする指数)	総 農 家 数	80	27	耕 地	89	41	稲	82	22	乳用牛	69	30	耕耘機及び トラクター	68	35		A：平成22年 (2010農業センサス) B：平成17年 (2005農業センサス) C：平成 12年 (2000農業センサス)
	専業農家数	81	38	田	91	43	麦 類	89	15	食用牛	59	32	動力防除機	72	0		
	第 一 種 兼業農家数	193	64	畑	65	27	野菜類	244	89	採卵鶏	114	-	田 植 機	87	36		
	第 二 種 兼業農家数	68	20	樹園地	53	20	豆 類	85	14	ブロイラー	83	73	コンバイン	101	42		
	農 業 従 事 者 数	-	-	草 地			工芸農 作 物	-	8								
変 化 の 理 由	農業従事者の高齢化、少 子化の進行、後継者不足及 び他産業への流出等、社会 情勢の変化により減少して いる。			地域開発に伴う住宅 等への転用により減少 している。			農業従事者の高齢化 及び後継者不足等厳し い状況により、全体の 作付面積は減少方向に ある。水稻は生産調整 施策により減少してい る。			乳用牛は乳製品の輸 入自由化により減少し ている。肉用牛は高齢 化及び後継者不足に伴 う小規模農家の離農等 により減少している。			農家数の減少により、機 械台数は減少している。				

出典：農業センサス

※A----- 2010(H. 22)

B----- 2005(H. 17)

C----- 2000(H. 12)

第6節 地域環境の概要

①植物

鳥栖市は脊振山系九千部山や秋光川、安良川などの豊かな自然を有しており、九千部山頂下周辺にかけてはブナやアカガシが群衆を形成する自然度の高い植生が見られ、貴重な自然資源となっている。

本受益地区内の考慮すべき植物として、安良川を中心に、ミズワラビ、ヌカボタテ、ロクオンソウ、ミズマツバ、ミゾコウジュ、カワヂシャの植生が見られる。

②動物

九千部山周辺は、アナグマ、キツネ、ニホンザル、タヌキ、野ウサギ、野鳥などの生息地となっている。また、渡り鳥のコースともなっているため、四季を通じてメジロ、キジバト、ヒヨトリ、ホオジロ等様々な野鳥を見ることが出来る。

本受益地区内の考慮すべき動物として、チュウヒ、ハヤブサ、ササゴイ等の鳥類、カゼトゲカナゴ、ドジョウ、メダカ等の魚類の生息が見られ、安良川の上流では、毎年ヤマメの放流が行われており、生息域の保全を行っている。

③景観

本地区は、鳥栖市南部の水田地帯に位置し、安良川の左右岸に広がるJR鹿児島本線と主要地方道久留米・基山・筑紫野線に挟まれた田園風景となっている。

参考文献：レッドデータブックさが
佐賀県HP 佐賀県レッドデータブック情報

第 4 章 一 般 計 画

第 1 節 事業計画の要旨

1. 要 旨

本地区は一級河川筑後川水系宝満川の右岸に位置し、扇状地が発達した沖積平野であり、現在、米、麦、大豆を中心とした土地利用型農業が展開されているほか、苺、アスパラ等の園芸作物や菓子メーカーとの契約栽培でバレイショが作付けされている。

しかし、本地区の農業用水は、不安定な河川からの取水に依存しており、度々用水不足に見舞われ、営農に支障を来している。このため、農業用水の安定供給を目的とし、「国営筑後川下流土地改良事業」や「県営水利施設整備事業 基幹水利施設整備型(鳥栖地区)」により基幹施設の整備が行われている。

本事業は、これら基幹施設の整備に併せて末端施設(パイプライン)を整備することで農業用水を確保し、安定的な農業経営及び担い手への農地集積を図る。

2. 事業別面積

(第 8 表)

事業名 土地利用区分 事業目的	県営土地改良事業 (水利施設整備 (農地集積促進型)) 鳥栖南部地区												計 (ha)	備考
	田 (ha)	輪換 耕地 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	その他 樹園地 (ha)	小計 (ha)							
用 水 改 良	78.5	—	—	—	—	—	78.5						78.5	
計	78.5	—	—	—	—	—	78.5						78.5	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

本地区では、米麦を主体に園芸作物を導入し、農業生産を行ってきた。今後も区画整理された農地や本事業で確保される農業用水を利用し、農作業の効率化、高品質化並びに低コスト化を図る。

また、作物の導入に当たっては、都市近郊という立地条件を生かし、担い手農家を中心に高収益作物を導入し、地域の産地形成を図る。

2. 土地利用区分

(第9表-1)

工種	土地利用区分	田 (ha)	輪換 耕地 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	桑 園 (ha)	その他 樹園地 (ha)	小 計 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
県営土地改良事業 (水利施設整備(農地集積促進型)) 鳥栖南部地区	現 況	78.5	—	—	—	—	—	—	78.5	—	—	—	78.5	
	計 画	78.5	—	—	—	—	—	—	78.5	—	—	—	78.5	

3. 作付方式

(第9表－2)

事業名	項目	経営類型	区 分地目	1年目												2年目												備考
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
	現況																											
	計画																											
	現況																											
	計画																											
	現況																											
	計画																											
	現況																											
	計画																											
	現況																											
	計画																											
	現況																											
	計画																											

作 付 体 系

(付 1 表)

計 画 地 目	作 物 名	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	面 積	備 考			
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			上	中	下
田	表	水 稲						○	—	△	—	—	—	×	×		50.9	作付体系の表示
		大 豆								○	—	—	—	×			21.6	
		アスパラガス	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	3.2	
		イチゴ	—	—	—	—	×					△	—	×	—		1.1	
		小 計															76.8	
	裏	小 麦	—	—	—	—	×	×						○	—		12.7	播 種 ○—○ 移 植 △—△ 収 穫 ×—×
		大 麦	—	—	—	—	×	×						○	—		32.2	
		レタス	—	×	—	×									△	—	0.4	
		たまねぎ	—	—	—	—	×	—	×					△	—		0.5	
		キャベツ	—	—	—	×	—	×						△	—		0.5	
		ばれいしょ	△	—	—	—	×	—	×				△	—	—		12.0	
		小 計															58.3	
	計	表 + 裏													135.1			

現 況 作 付 体 系 図

(付2表)

地 目	作 付 面 積	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	備 考		
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		上	中
水 田	75.3 ha	大 麦 A= 15.0 ha						水 稻 A= 63.4 ha						大 麦		作 付 け 率 = $\frac{102.3}{75.3}$ = 135.9 %
		小 麦 A= 7.0 ha												小 麦		
		タ マ ネ ギ A= 0.2 ha												タ マ ネ ギ		
		レ タ ス A= 0.3 ha												レ タ ス		
		キ ャ ベ ツ A= 0.0 ha						大 豆 A= 10.5 ha						キ ャ ベ ツ		転 作 率 = $\frac{11.9}{75.3}$ = 15.8 %
		バ レ イ シ ョ A= 4.5 ha												バ レ イ シ ョ		
		アスパラガス A= 0.8 ha														
		いちご A= 0.6 ha														

計 画 作 付 体 系 図

(付3表)

地 目	作 付 面 積	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	備 考		
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		上	中
水 田	75.3 ha	大 麦 A= 32.2 ha						水 稻 A= 49.4 ha						大 麦		作 付 け 率 = $\frac{133.6}{75.3}$ = 177.4 %
		小 麦 A= 12.7 ha												小 麦		
		タ マ ネ ギ A= 0.5 ha												タ マ ネ ギ		
		レ タ ス A= 0.4 ha												レ タ ス		
		キ ャ ベ ツ A= 0.5 ha						大 豆 A= 21.6 ha						キ ャ ベ ツ		転 作 率 = $\frac{25.9}{75.3}$ = 34.4 %
		バ レ イ シ ョ A= 12.0 ha												バ レ イ シ ョ		
		アスパラガス A= 3.2 ha														
		いちご A= 1.1 ha														

4. 生産計画

(第9表-3)

事業名	項 目 土地利用区分		作物名	作 付 面 積			作 付 率		単位面積当たり収量			生 産 量(t)			同左生産量増減の		備 考
				現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積 当たり 収量増加	
鳥栖南部地区 （水利施設整備（農地集積促進型） 県営土地改良事業）	水田	表 作	水 稲	63.4	49.4	△ 14.0	84.2%	65.6%	466	466	0	295.4	230.2	△ 65.2	△ 65.2	0.0	
		〃	大 豆	10.5	21.6	11.1	13.9%	28.7%	95	103	8	10.8	22.2	11.4	10.5	0.9	
		〃	アスパラガス	0.8	3.2	2.4	1.1%	4.2%	2,050	2,317	267	18.5	74.1	55.6	49.2	6.4	
		〃	イ チ ゴ	0.6	1.1	0.5	0.8%	1.5%	4,399	5,059	660	30.4	55.6	25.3	22.0	3.3	
		裏 作	小 麦	7.0	12.7	5.7	9.3%	16.9%	358	358	0	25.1	45.5	20.4	20.4	0.0	
		〃	大 麦	15.0	32.2	17.2	19.9%	42.7%	373	373	0	56.0	120.1	64.2	64.2	0.0	
		〃	レ タ ス	0.3	0.4	0.1	0.4%	0.5%	1,968	2,224	256	6.7	8.9	2.2	2.0	0.3	
		〃	た ま ね ぎ	0.2	0.5	0.3	0.3%	0.7%	5,151	5,821	670	11.6	29.1	17.5	15.5	2.0	
		〃	キ ャ ベ ツ	0.0	0.5	0.5	0.0%	0.7%	3,118	3,523	405	0.0	17.6	17.6	15.6	2.0	
		〃	ば れ い し ょ	4.5	12.0	7.5	6.0%	15.9%	2,115	2,432	317	109.4	291.8	182.4	158.6	23.8	
	普通畑	春夏作			0.0												
		秋冬作			0.0												
	計				102.3	133.6	31.3	135.9%	177.4%								
合 計																	

5. 労働改善計画

(第9表－4)

事業名	項目 土地利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量(hr/10a)				備 考
	区 分			現 況	計 画	増 減		
（水利施設整備（農地集積促進型）） 鳥栖南部地区 県営土地改良事業	水 田	水 稻	63. 4	人 力	20. 9	18. 3	△ 2. 5	
				機械力	6. 7	4. 6	△ 2. 1	
		大 豆	10. 5	人 力	12. 1	5. 1	△ 7. 0	
				機械力	7. 7	2. 5	△ 5. 2	
		小 麦	7. 0	人 力	11. 7	5. 9	△ 5. 8	
				機械力	8. 5	3. 6	△ 5. 0	
		大 麦	15. 0	人 力	12. 7	6. 9	△ 5. 8	
				機械力	8. 5	3. 6	△ 5. 0	
	計							
			95. 9					
合 計								

6. 級地別土地利用区分

(第9表-5)

区分 土地利用区分 級地名		農用地造成 (ha)					干拓地 (ha)					合 計
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
農地	田											
	輪換耕地											
	畑											
	(普通畑)											
	(牧草畑)											
	樹園地											
	(果樹園)											
	(桑園)											
その他												
計												

7. 土地配分計画

(第9表-6)

項 目 区 分		配分戸数 (戸)	地 目 別 配 分 面 積 (ha)							備 考	
			田	輪換 耕地	畑						計
					普通畑	牧草畑	樹園地				
増反入植											

第3節 用水計画

1. 計画基準年

昭和35年 (国営筑後川下流土地改良事業計画による。)

(河川流量 1/12、かんがい期連続旱天日数 1/13、かんがい期有効雨量 1/3)

2. 計画かんがい方式

区画整理

水田 水稻 . . . たん水かんがい かんがい期間6月下旬～10月下旬

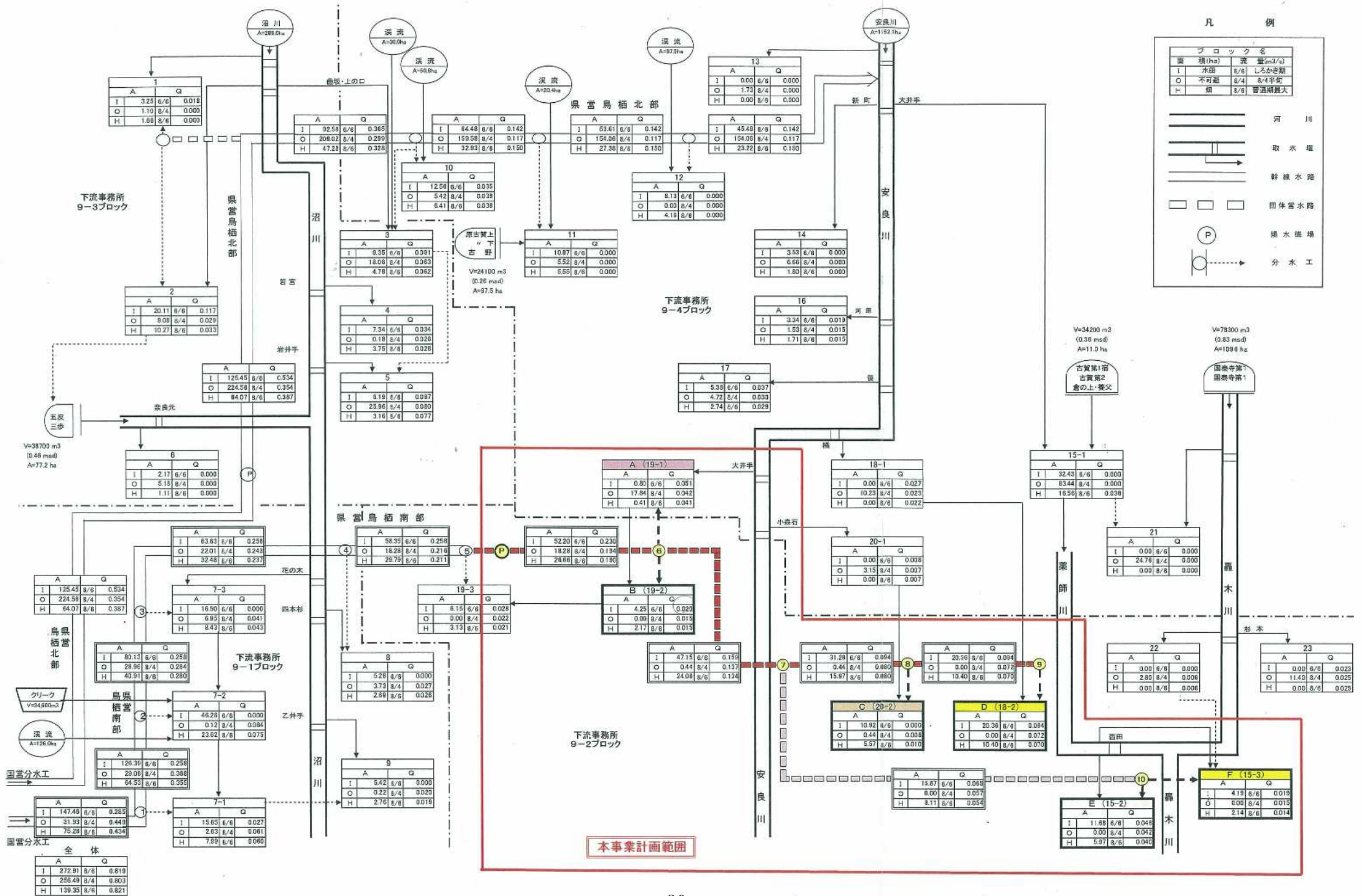
(代掻き期間6月21日～6月30日)

畑作物 . . . 畝間かんがい かんがい期間通年

3. 計画用水系統

別図参照

計画用水系統模式図



4. 計画用水量

(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

路線名	項目	種別	面積(ha)		水田かんがい		畑地かんがい			田 畑 輪 換						消費水量 (m3/s)	損失率 (%)	粗用水量		備考	
			事業名		普通期	代かき期	面 積 (ha)	1 日 当 た り 計 画 平 均 かん 水深 (mm/日)	平均 間 断 日 数 (日)	面 積 (ha)	水田かんがい		畑地かんがい					平均 (m3/s)	最大 (m3/s)		
			計	県営土地改良事業（水利施設整備（農地集積促進型））鳥栖南部地区	計画平均単位用水量 (mm/日)	計画代かき単位用水量 (mm)					普通期	代かき期	面 積 (ha)	1 日 当 た り 計 画 平 均 かん 水深 (mm/日)	平均 間 断 日 数 (日)						面 積 (ha)
鳥栖南部線	農業用水		78.5	78.5	(19.8) 16.6	150	52.2	(6.0) 5.5	3.0	26.7	-	-	-	-	-	0.282	15～35	0.262	0.269	面積は 受益面積 ()は 最大値	

(2) 営農飲雑用水

該当無し

5. 水源計画

(1) 水利用計画

(第10表-2)

項 目 区 分	消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	現況利用可能水量			不 足 水 量		水源依存量		水源 工種	備 考
					水源名	取水地点 利 用 可能量	ほ場利用 可 能 量	純不足量	全不足 水 量	水源名	水量		
	a (千m ³)	b (千m ³)	c=a-b (千m ³)	d=c/(1-α) (千m ³)		e (千m ³)	f (千m ³)	g=c-f (千m ³)	h=d-e (千m ³)		(千m ³)		損失率: α
県営土地改良 事業（水利施 設整備（農地 集積促進 型））鳥栖南 部地区	1,544	484	1,060	1,247	河川 溜池他 計	865 - 865	865 - 865	-	382	筑水	382	河川	α ₁ =0.15 α ₂ =0.35

(2) 用水対策

(ア) 井堰及び自然取入口

(第10表-3)

項 目 取水施設名	河川名	流域面積 (km ²)	かんがい面積 (ha)		取 水 量 (m ³ /s)		渇水量 (m ³ /s)	備考
			事 業 名		最 大	平 均		
			県営土地改良事業 (水利施設整備 (農地集積 促進型)) 鳥栖南部地区	計				
井堰	安良川 薬師川	17.6	78.5	78.5	-	0.089	-	

(イ) 貯水池

(第10表-4)

(1) 貯水池					(第10表)				
項 目 貯水池名	流 域 面 積 (km2)		かんがい面積 (ha)		有効貯水量 (千m3)	利用貯水量 (千m3)	利用回数 (回)	最大取水量 (m3/s)	備考
			事 業 名						
	直 接	間 接	県営土地改良事業 (水利施設整備 (農地集積促進型)) 鳥栖南部地区	計					

(ウ) 揚水機

(第10表-5)

項目 名称	水 源 名	かんがい面積 (ha)			所要水量(m3/s)		揚 水 機				備考
		事 業 名			最大 (m3/s)	平均 (m3/s)	実揚程 (m)	揚水量 (m3/s)	台 数 (台)	全揚水量 (m3/s)	
		県営土地改良事業 (水利施設整備 (農地集積促進型)) 鳥栖南部地区	地区外	計							
鳥栖南部線	筑後川	78.5		78.5	0.23	－	－	0.1071	2	0.2142	主ポンプ
								0.0238	1	0.0238	保圧ポンプ

(エ) 用水路

(第10表-6)

項目 名称	かんがい面積(ha)			最大通水量 (m3/s)	延長 (m)		備考
	事業名						
	県営土地改良事業 (水利施設整備(農地集積促進型)) 鳥栖南部地区	地区外	計				
鳥栖南部線	78.5	0	78.5	0.23	3,890	管水路	
計	78.5	0	78.5	0.23	3,890		

(オ) その他の水源施設

(3) 水温水質

該当なし

第4節 排水計画

1. 計画基準雨量
国営筑後川下流計画に準ずる。
 - ・ 3日連続雨量 321mm/3日
 - ・ 日雨量 204mm/day
 - ・ 時間雨量 68mm/hr
2. 計画排水方式
既設の排水機及び排水樋門を利用する。
3. 計画排水系統
該当無し
4. 計画排水量
該当無し
5. 排水対策
(1) 排水水門
該当無し
(2) 排水機
該当無し
(3) 排水路
該当無し
(4) その他
該当無し
6. たん水検討
該当無し

第5節 道路計画

該当なし

第6節 農地造成計画

該当なし

第7節 洪水調節計画

該当なし

第8節 干拓計画

該当なし

第9節 農用地整備計画

該当なし

第10節 老朽ため池改修計画

該当なし

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1. 頭首工

該当無し

2. 貯水池

該当無し

3. 揚水機

(第17表-3)

項目 名称	位置	揚水量 (m^3/s)	揚程 (m)		揚水機			原動機			備考
			実揚程	全揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 (kw)	台数 (台)	
鳥栖南部線	鳥栖市	0.107	-	24.0	両吸込型	$\phi 250$	2	電動機	37	2	主ポンプ
		0.024	-	24.0	片吸込型	$\phi 125$	1	電動機	11	1	保圧ポンプ

4. 用水路

(第17表-4)

水路名 項目	かんがい面積 (ha)			通水量 (m ³ /s)	延 長 (km)			構 造	勾 配	主要構造物	備 考
	事 業 名				総延長	開渠	計				
	県営土地改良事業 (水利施設整備（農地集積促進型）） 鳥栖南部地区	地区外	計								
鳥栖南部線	78.5	0	78.5	0.230	3.9	-	-	管水路	-	-	
計	78.5	0	78.5	0.230	3.9	-	-	管水路	-	-	

5. その他かんがい施設

該当無し

第2節 排水施設

該当なし

第3節 道路及び索道

該当なし

第4節 農用地造成

該当なし

第5節 洪水調節施設

該当なし

第6節 干拓施設

該当なし

第7節 農用地整備施設

該当なし

第8節 老朽ため池改修施設

該当なし

第6章 付帯工事計画

該当なし

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

1. 工事着手の予定時期 平成23年度
2. 工事完了の予定時期 令和8年度

第8章 環境との調和への配慮

環境及び景観については、鳥栖市田園環境マスタープラン（H16.6策定）において、本地区は環境配慮区域に位置することから、周辺環境や生態保全に配慮した整備計画とする。

主要工事は、管水路（パイプライン）であり、現況の道路内への地下埋設がほとんどであることから生態系や景観形成等への影響は少ない。また、本地区近隣における生物調査では、本事業により影響を受ける保全対象物は確認されなかったため事業による影響はほとんどないと思われる。

なお、工事期間中に使用する建設重機は排出ガス対策型とし、保全対象生物が確認された場合は、速やかに関係機関と協議を行い移植・保護に努める計画である。

第9章 換地計画の概要

第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方
該当なし

第2節 換地区の設定
該当なし

第3節 換地区計画樹立の基本方針
該当なし

第4節 土地の評価及び精算の方法
該当なし

第5節 換地計画樹立の年度計画
該当なし

第6節 換地処分の特則に関する特則
該当なし

第10章 事業費の総額及び内訳

(第26表)

区 分 \ 事業名		県営土地改良事業（水利施設整備（農地集積促進型））鳥栖南部地区	(百万円)	備 考
1. 工事費		840	840	
(1) 管水路工		536	536	
鳥栖南部線		536	536	
(2) 揚水機工		304	304	
2. 測量及び試験費		127	127	
3. 用地補償費		18	18	
4. 船舶及び機械器具費		-	-	
5. 営繕費		-	-	
6. 全体実施設計費		-	-	
7. 工事雑費		17	17	
小 計		1,002	1,002	
地方事務費		20	20	
計		1,022	1,022	
関 連 事 業 (参考)	筑後大堰	1	1	
	佐賀揚水機場	41	41	
	佐賀東部導水路	149	149	
	県営かんがい排水事業	762	762	
	県営ほ場整備事業	391	391	
	団体営ほ場整備事業	7	7	
合 計		1,351	1,351	

第 1 1 章 効 用

(第 2 7 表－ 1 － 3)

項 目 区 分	年総効果（便益）額 (百万円)	年増加農業所得額 (百万円)	備 考
作物生産効果	95,065	67,875	
品質向上効果	4,972	—	
営農経費節減効果	47,127	47,127	
維持管理費節減効果	△ 4,594	△ 4,594	
その他	18,770	—	
計	161,340	110,408	「R5年度単価」

＜参考＞妥当投資額：4, 3 1 8 百万円（投資効率 1. 1 4）

第 1 2 章 関連する事業

上段 () は本地区分

地 区 名	面 積 (ha)	事 業 費 (百万円)	工 期	地 区 名	面 積 (ha)	事 業 費 (百万円)	工 期
水 資 源 機 構 営 筑 後 大 堰	(78.5) 25,960	(1) 288	S. 52～S. 59				
水 資 源 機 構 営 佐 賀 揚 水 機 場	(78.5) 19,380	(41) 10,087	S. 55～H. 9				
水 資 源 機 構 営 佐 賀 東 部 導 水 路	(24.0) 19,380	(149) 36,550	S. 55～H. 9				
県 営 かん が い 排 水 事 業 鳥 栖 地 区	(78.5) 409	(762) 3,971	S. 60～H. 23				
県 営 ほ 場 整 備 事 業 (轟 木 ・ 幸 津 地 区)	(24.0) 24	(391) 486	H. 11～H. 18				
団 体 営 ほ 場 整 備 事 業 (鳥 栖 第 一 地 区)	(24.0) 126	(7) 36	S. 34～S. 36				
				計		(1,351) 51,419	

第 1 3 章 現況・計画図面

1. 現況平面図

別途添付図面による

2. 計画平面図及び土地利用計画図

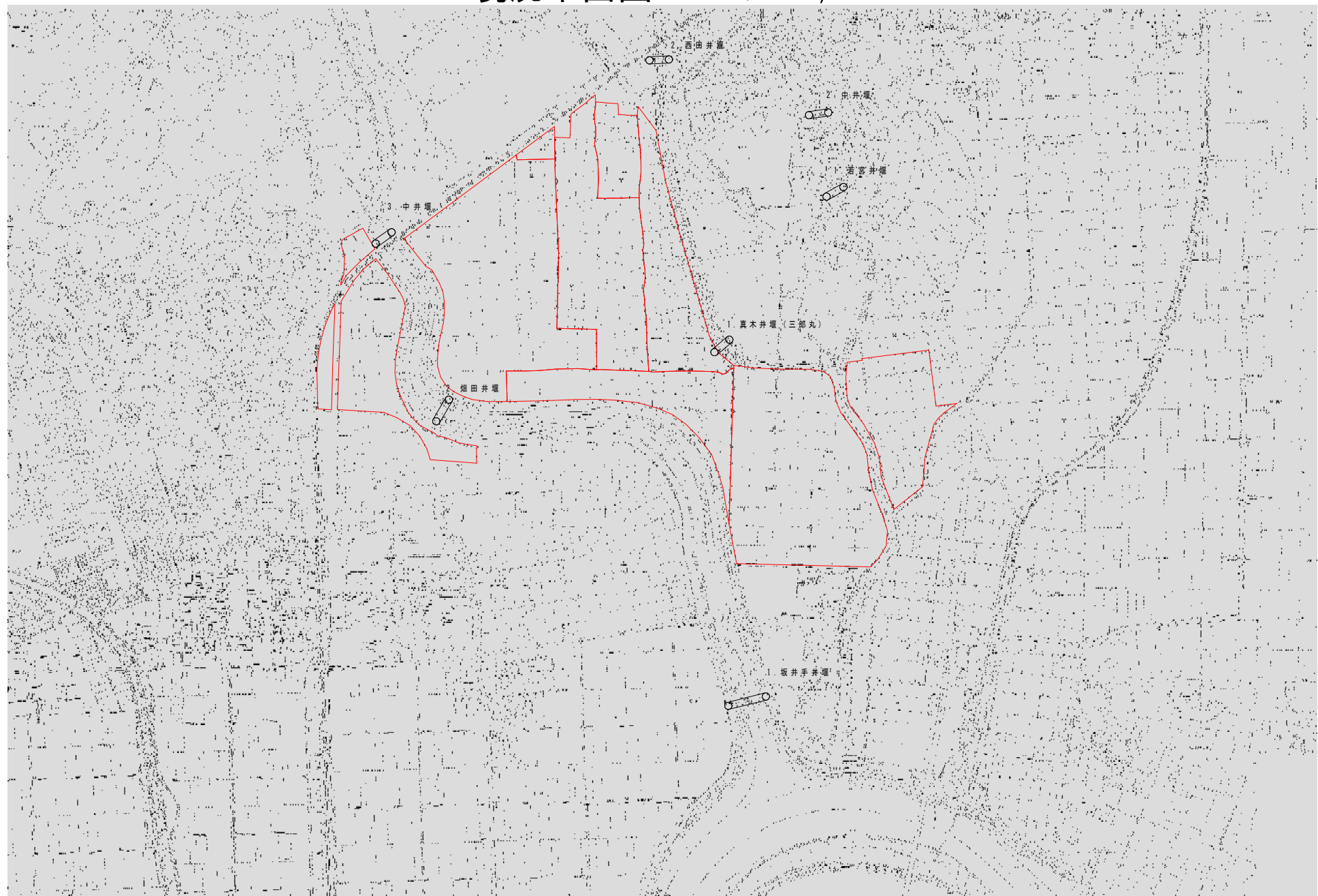
別途添付図面による

3. 主要構造図

別途添付図面による

県営土地改良事業（水利施設整備（農地集積促進型））
現況平面図 S=1／14, 200

鳥栖南部地区



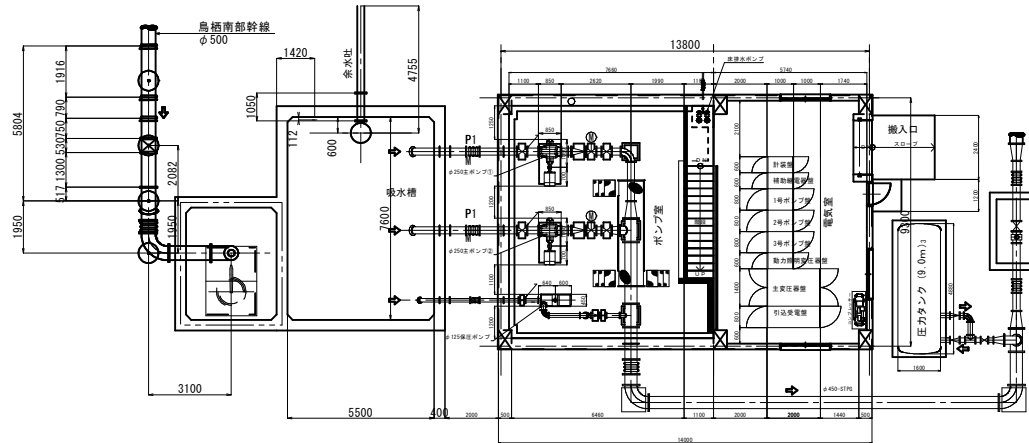


鳥栖南部地区

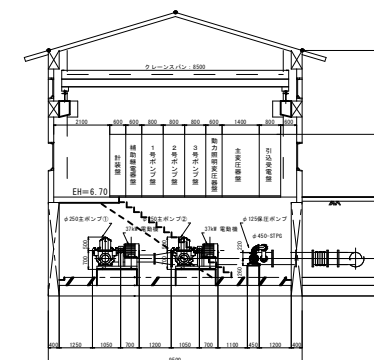
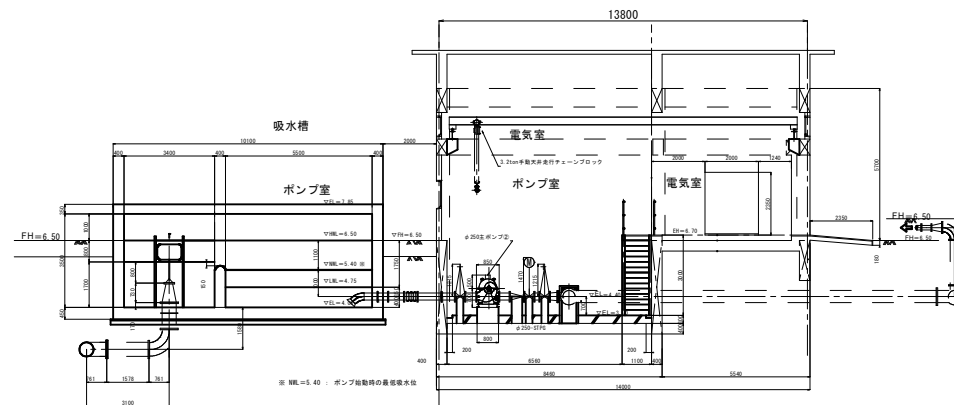


鳥栖南部地区

平面图



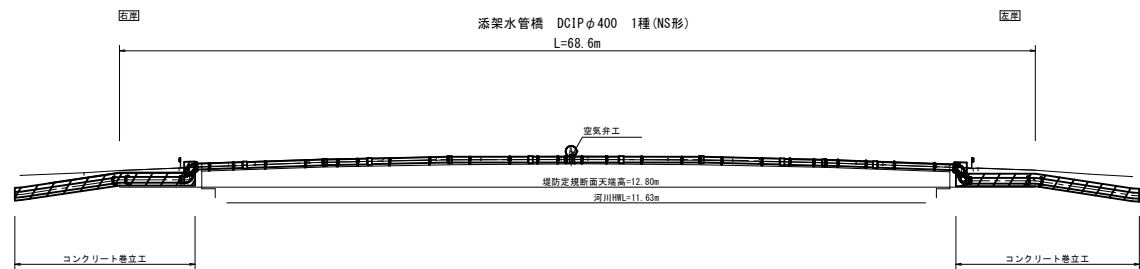
横断図



工 事 名			
図 面 名			
作成年月日			
縮 尺		図面番号	- /
会 社 名			
事業所名			

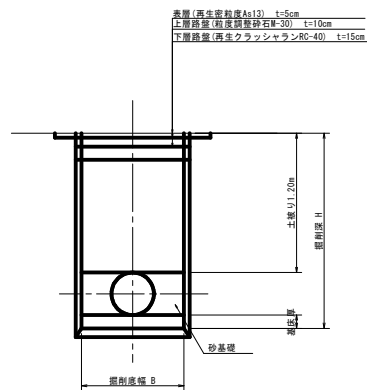
県営土地改良事業（水利施設整備（農地集積促進型）） 鳥栖南部地区
主要構造図(2/2) S=1／200

添架水管橋一般図



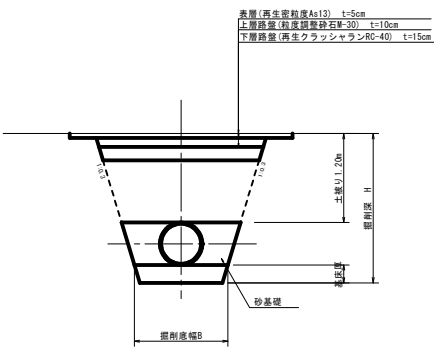
埋設工

市道下埋設



管径・管種	外径 (mm)	掘削底幅 B(m)	掘削深 H(m)	掘削底厚 B(m)
DC1P 500	528	1.30	1.93	0.20
DC1P 450	477	1.05	1.88	0.20
DC1P 400	426	1.00	1.83	0.20
VP 300	318	0.80	1.72	0.20
VP 250	267	0.60	1.67	0.20
VP 200	216	0.60	1.57	0.15
SP 200	216	0.60	1.57	0.15

農道下埋設



管径・管種	外径 (mm)	掘削底幅 B(m)	掘削深 H(m)	掘削底厚 Z(m)
DC1P 500	528	1.30	1.93	0.20
DC1P 450	477	1.05	1.88	0.20
DC1P 400	426	1.00	1.83	0.20
VP 300	318	0.80	1.72	0.20
VP 250	267	0.60	1.67	0.20
VP 200	216	0.60	1.57	0.15
SP 200	216	0.60	1.57	0.15

工 事 名			
図 面 名			
作成年月日			
縮 尺		図面番号	- /
会 社 名			
事業所名			